



Daiwa House®
Group

家族とのパターゴルフを目指して

立位保持のためのリハビリ

大和ハウスライフサポート株式会社
もみの樹・杉並

発表者：須田 祐一郎

パワーポイント：横森 舞

施設紹介・企業理念

介護付有料老人ホーム

- ・ 開設日 2006年3月
- ・ 定員 64名
- ・ 平均年齢 91.6歳
- ・ 平均介護度 2.6
- ・ 24時間看護職員常駐
- ・ 理学療法士・作業療法士常駐
- ・ フloor別介護（2023/9/27現在）
 - 1 F：軽介助フロア 16名/20名
 - 2 F：医療フロア 12名/22名
 - 3 F：重介助フロア 19名/22名

企業理念

私たちは、
地域社会に求められる存在として
お客様の信頼と笑顔のため
仲間と自分自身のため
当たり前のことを
大切に確実に行い続けます。



介護付有料老人ホーム
もみの樹 杉並

コロナ禍における制限

- ①ホームでの過ごし方
- ②ADL・QOL向上
- ③家族とのかかわり方

※事例報告にあたっては、個人情報が特定されないよう匿名化し報告する等、施設長および家族に口頭で説明し同意を得ました。

対象者及び入居経緯

対象者：H様 90代 女性

入居経緯：娘様ご家族の家の隣に息子様と同居されていた。
H様に家政婦を付けるも、H様の娘様への依存が強く、
娘様も自分の時間を作る事が難しくなったため、
家から近いホームを探す。

2013年11月 もみの樹・杉並の1Fにご入居

2021年11月 3Fにフロア移動

主な既往歴

認知症、不安神経症、脳梗塞、気管支喘息

H様の状況

[生活歴・性格]

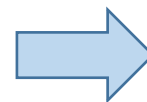
- ・横浜生まれ、横浜育ち。
- ・趣味はゴルフ、洋裁、あみもの、俳句、書道。
- ・家庭科の教師や、帝国ホテルのオートクチュールを扱う店で働いていた。
- ・寂しがり屋。
- ・当ホームでは娘様、息子様と毎日面会されていた。（コロナ禍以前）

[ADL]

- ・2020年1月外泊時転倒。大腿部骨折。
その後、歩行はされていたが、左足第4趾5趾骨折後、車椅子で生活される。
- ・転倒リスクがあり、臥床時にフットセンサー使用。
- ・現在はセンサーを使用せず、ベット最低床と床マット使用。
- ・トイレは2人介助にて座られる。

もみの樹杉並での生活

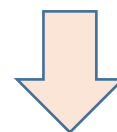
コロナ禍での面会制限により面会が制限
→外出機会の減少、ご家族との話題の減少



活気が
減少



ゴルフがしたい！！

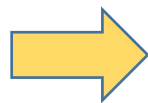


チームを組んで、
取り組みを開始

取り組み期間：2022年4月9日～2023年5月4日

ご本人の希望を叶えるために

入居前のご様子



80歳代まで車の運転をされる
家族とゴルフに行かれていた

A large yellow arrow with a blue outline pointing downwards, indicating a transition or flow from the previous state to the next.

館で出来る事

パターゴルフセットの活用
ご家族を交えたゴルフの機会
立位でのゴルフ

ご本人の希望を叶えるために



課題は？
必要な能力は？

平行棒？
POPO？

誰が？
いつ？

立位保持の強化！！



POPOとは？

免荷式歩行リフト



取組① POPO



注意点はここだよ？



ケアスタッフへレクチャー



リハスタッフがいなくても出来るように

取組② 平行棒



頑張ってるよ！！



達成すべき課題

ケアスタッフでPOPOが出来ていない

平行棒の使用が出来てない

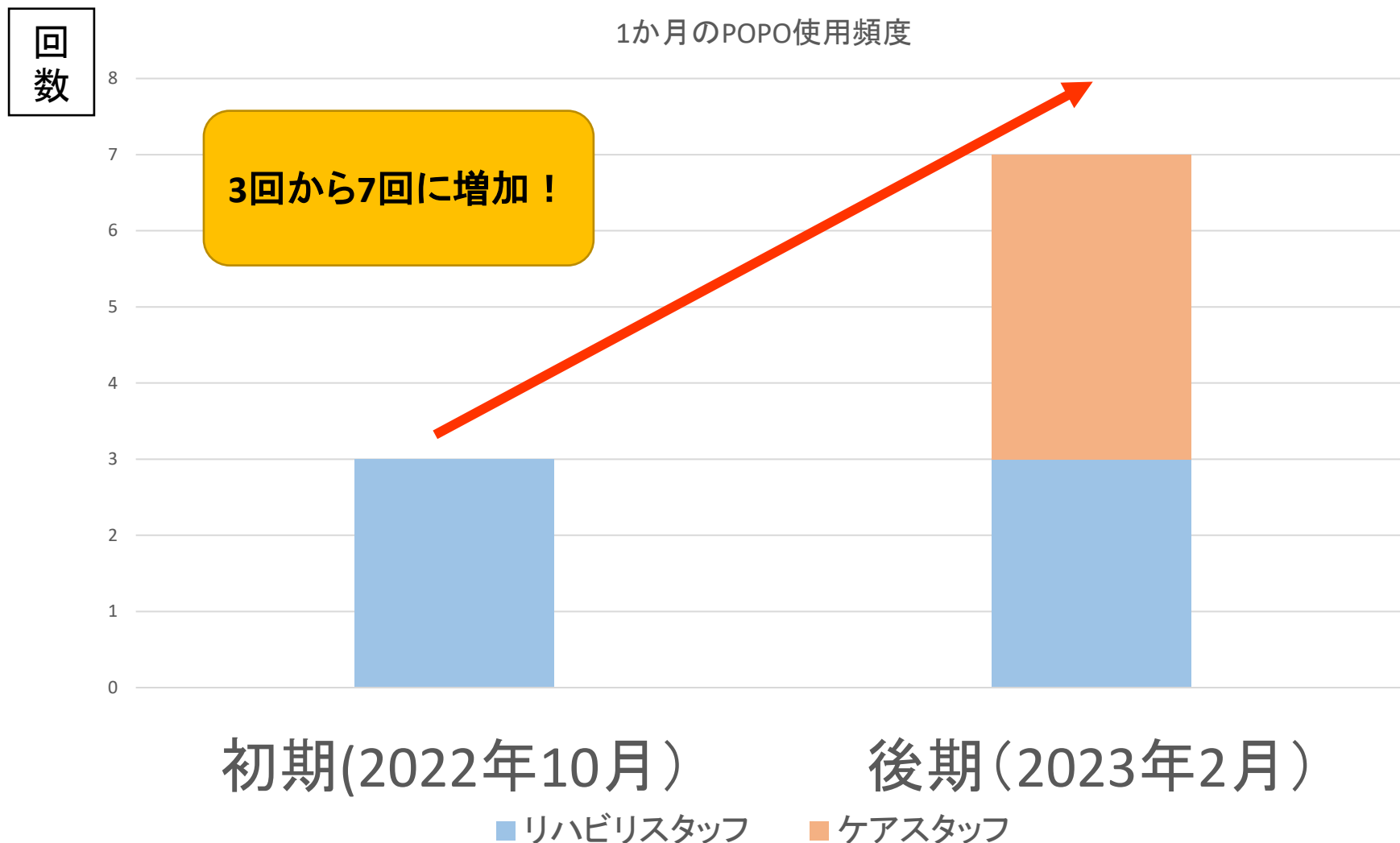
扱えるスタッフが少ない
実施に2名必要

実施者が不明確

スタッフ同士のPOPOのレクチャー
合計2名が使用できるようになる

平行棒実施の意図の再発信
実施記入用紙の作成
実施者の明確化

取組①-1 POPO



取組①-2 POPO



ケアスタッフによる
POPOの実施



取組② 平行棒

注目！！

ゴルフクラブによる素振り(座位)

→日中の記録(L1)素振りについては基本日Lが対応

平行棒

→実施出来なかった場合は遅番が未実施の理由を記録
(生活リハL1)

ご本人も楽しまれている傾向にあり、素振り後は水分も進む傾向にある。

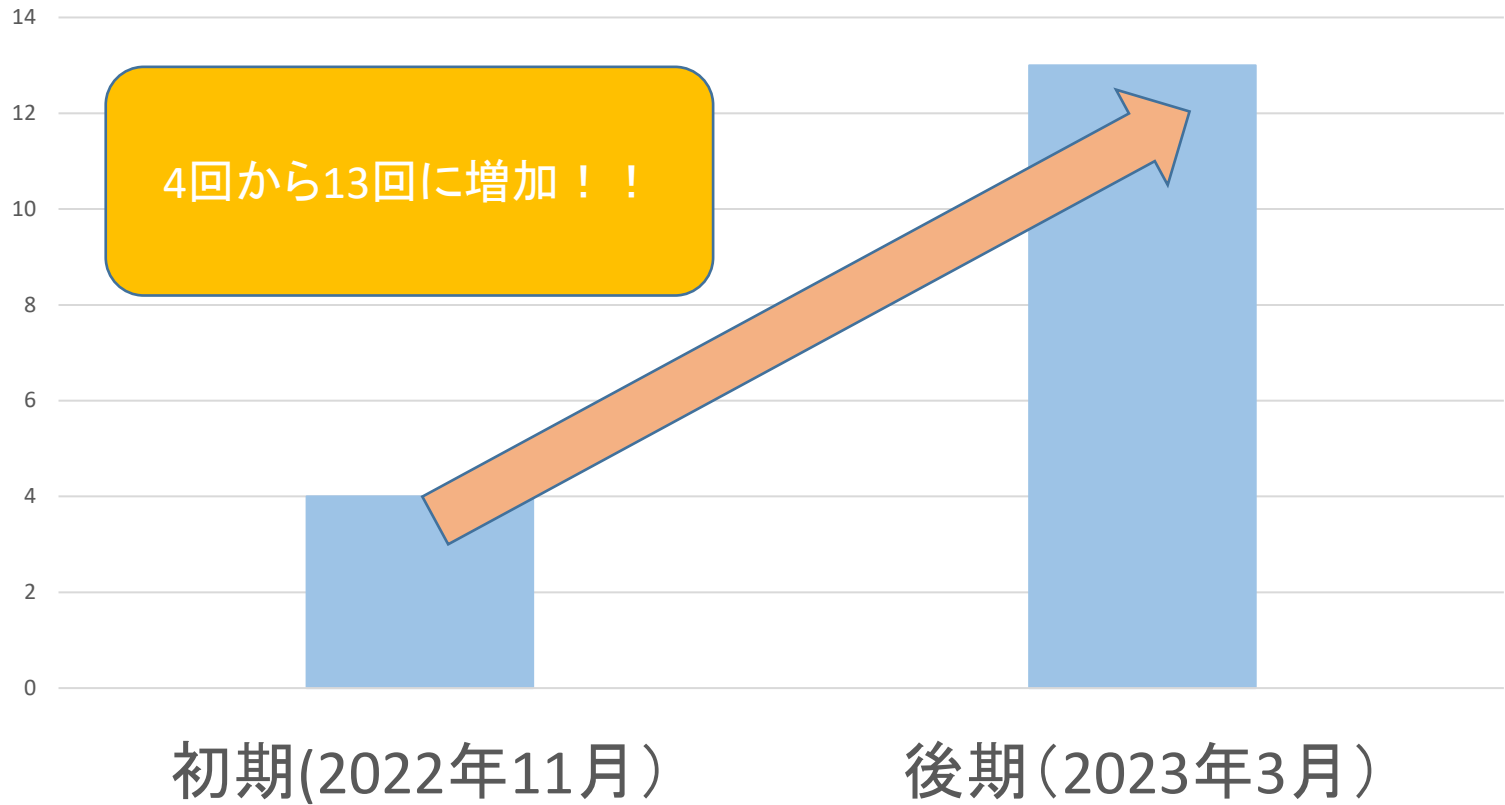
4月を目標としたご家族とのパターゴルフを楽しむことを目標としている。

日付	2月20日	2月21日	2月22日	2月23日	2月24日	2月25日	2月26日	2月27日	2月28日	3月1日	
素振り											
平行棒	横森	稲垣			齋藤			須田		須田	
POPO			須田			横森					

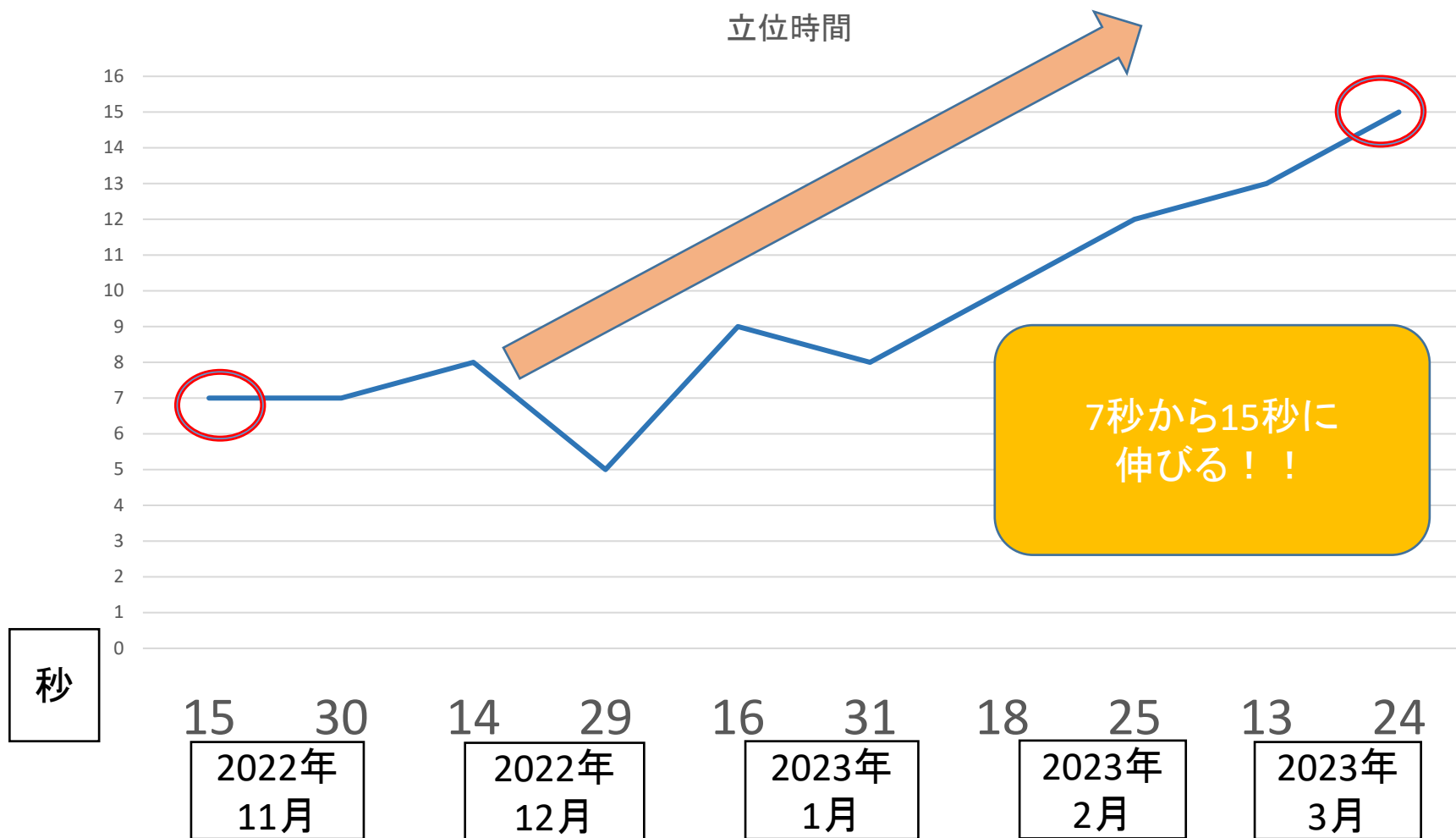
取組②-2 平行棒

回数

1か月の平行棒使用頻度



評価①



評価②

H様立位評価表

佃井PT					
評価日	2022年 11月30日	2022年 12月29日	2023年 1月31日	2023年 2月15日	2023年 3月20日
立位負担度	8	7	4	5	4
覚醒具合					2
特記事項					平行棒
須田					
評価日	2022年 11月22日	2022年 12月29日	2023年 1月24日	2023年 2月18日	2023年 3月24日
立位負担度	9	8	6	6	4
覚醒具合	3	2	2	3	3
特記事項	平行棒	平行棒	平行棒	平行棒	平行棒

立位負担度が8・9から4に減少！！

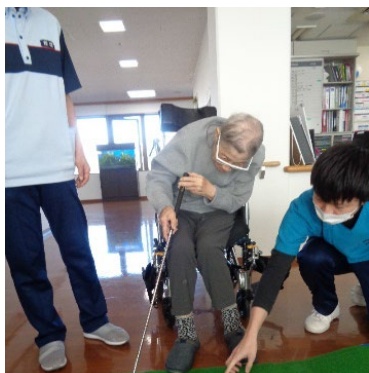
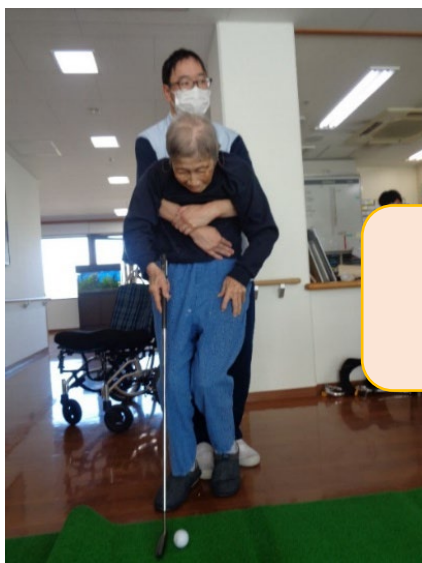
立位負担度1～10段階 数字が大きい方がスタッフへの依存度大
 状態 1～3 1:覚醒不良 2:覚醒良好・無表情 3:覚醒良好・笑顔

練習

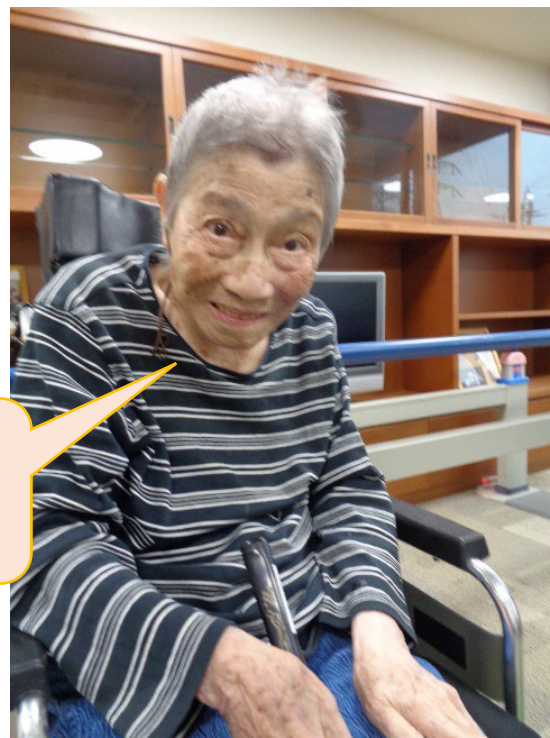
月に数度の座位と立位でのパターゴルフ練習



リハビリに対するモチベーションアップ

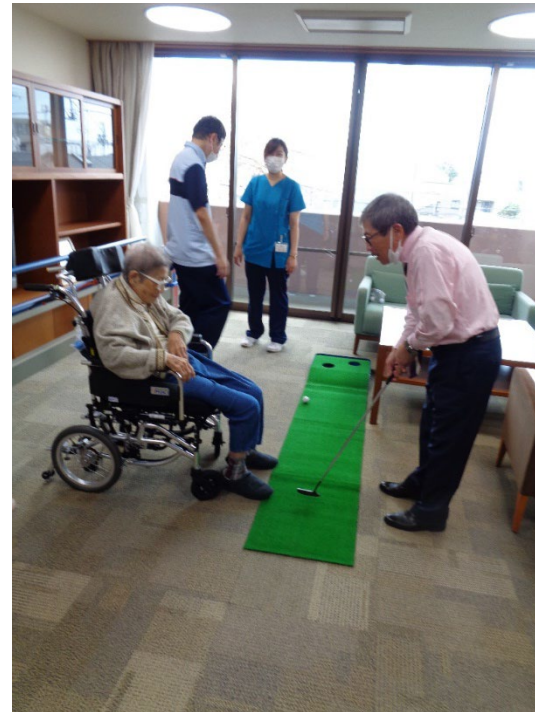


楽しいね！！



2023年4月6日本番

1分以上立位を取る！
何度もゴルフクラブを振る！



2023年4月6日本番②

ご家族の様子



お手本見せてよ！！

また一緒にやろう！

振り返り

余暇活動の充実



パターゴルフを行うことで活気が見られてきた
リハビリへの意欲向上

ご家族との関わり



共通の趣味を一緒に行うことで
普段の生活・面会では見られなかった反応を引き出した

多職種連携



職種の垣根を超えた意見交換の場が出来た

ADLの向上



POPOの活用によりADL向上・転倒予防に繋がる

ご清聴ありがとうございました

